

人と人ってほんとうに分かりあえるの？  
生まれつき耳のきこえないわたしと、  
アスペルガー症候群のまあちゃんの  
心の越境ドキュメンタリー。



# 友達やめた。

わたしたちって、  
ややこしい。

監督・撮影・編集：今村彩子 『Start Line』『開け橋きこえなかった3.11』  
構成：山田進一／音楽：やとみまたはち／音響効果：野田香純／監音：澤田弘基  
CG編集：藤下智也／イラスト：小笠原円／宣伝デザイン：中野香  
配給協力・宣伝：リガード／配給：Studio AYA 2020／日本／84分／BD／ドキュメンタリー  
studioaya-movie.com/tomoyame



7.3 sat 札幌市教育文化会館 4階講堂 (北1西13)

講演

映画の中の自閉スペクトラム症

札幌学院大学名誉教授 二通諭

チケット半券が必要です

4  
回  
上  
映

- ① 10:30～11:55 講演 12:00～12:30
- ② 13:00～14:25 講演 14:30～15:00
- ③ 15:30～16:55 講演 17:00～17:30
- ④ 18:00～19:25 ※映画のみ、講演なし

前売・予約1,200円 当日 1,500円

電話予約 090-7055-0074 (岩本)

メール予約 sapporocinema@yahoo.co.jp

プレイガイド

道新・札幌市民交流プラザ・教文

メール・電話予約は  
当日支払いで便利です。

\*満席の場合は当日券の販売はいたしません。  
\*各回定員156人の半分78人に  
入場を限定します。  
主催／札幌映画サークル  
全国障害者問題研究会北海道支部  
後援／札幌市

わたし、  
いい人でいるの  
やめた。



我が家も毎日がブチ「夫婦やめた」状態だ。  
でも、お互いを必要とする気持ちと信頼が、  
「言葉」を超越したコミュニケーションを育んできたと思う。  
「コミュニケーションとはなにか？」と考えるとき、  
本作から得られるヒントは多いはずだ。

くらげ (「ボクの彼女は発達障害」著者)

自分とは異なるバックグラウンドを持つ人たち同士が  
どうすればうまく共存できるのか、という本質的な問題について、  
理想論だけではない感情の部分まで示している。  
それは、簡単に答えが出るものではないかもしれないが、とても大切な問題だ。

——— 本田秀夫 (精神科医)



## あなたの常識は、わたしの非常識。 わたしの普通に、あなたはドン引き。

空気を読みすぎて疲れてしまい、人と器用につき合うことができない、アスペルガー症候群の、まあちゃん。理解があるような顔で、内心悶々としたものがかかえる、映画監督のわたし。些細なことで、ふたりの仲がギクシャクするたび、これって、彼女がアスペだから？ それとも、わたし自身の問題なの？ わかり合おうとしなくちゃ…いい人でなくちゃ…ああ、でも！ まあちゃんと友達でいるために、わたしは自分たちに向けてカメラを回しはじめた…はずが、たどりついた答えは、友達やめた？！



## めんどくさくって尊い、 個×個、心×心のドキュメンタリー！

コミュニケーションの壁に苦しむ自身の姿を、エイヤ！と晒した「Start Line」から4年、生まれつき耳のきこえない映画監督 今村彩子が、新たな葛藤と向きあう。人と人ってほんとうに分かりあえるの？ 友達って何？ 普通ってどういうこと？ わたしたちを縛るやっかいな“常識”を捨て、もっと自由に軽やかに、心と心を重ねあう。ヒリヒリして、イラッとまで…でも何だかほっこりする、まあちゃんとわたし、ふたりの“違い”から生まれたものがたり。



書籍発売中……………  
「スタートラインに続く日々」  
今村彩子監督初の単書、「友達やめた。」の原作ともいえる「アスペのまあちゃん」収録。前作「Start Line」の舞台裏とその後を描いた、「ちょっぴりカッコ悪い」映画監督のこれまでとこれからを綴ったエッセイ集。(桜山社刊/1500円+税)

## 友達やめた。

studioaya-movie.com/tomoyame @tomodachiyameta @tomodachiyameta

お客様への  
お願い

- 会場内は、定期的に換気を行い、受付に消毒液を用意します。
- 会場内では、ご持参のマスクを着用してください。一定の間隔を空けて着席していただきます。
- ご来場の際、マスク着用等の要請に応じていただけない場合は入場をお断りします。
- 発熱や咳などの症状や健康に不安のある方は、入場、来場を控えてください。

協賛

焼鳥じゃんぼ

札幌市中央区南5条西4丁目 Tel.011-531-6451